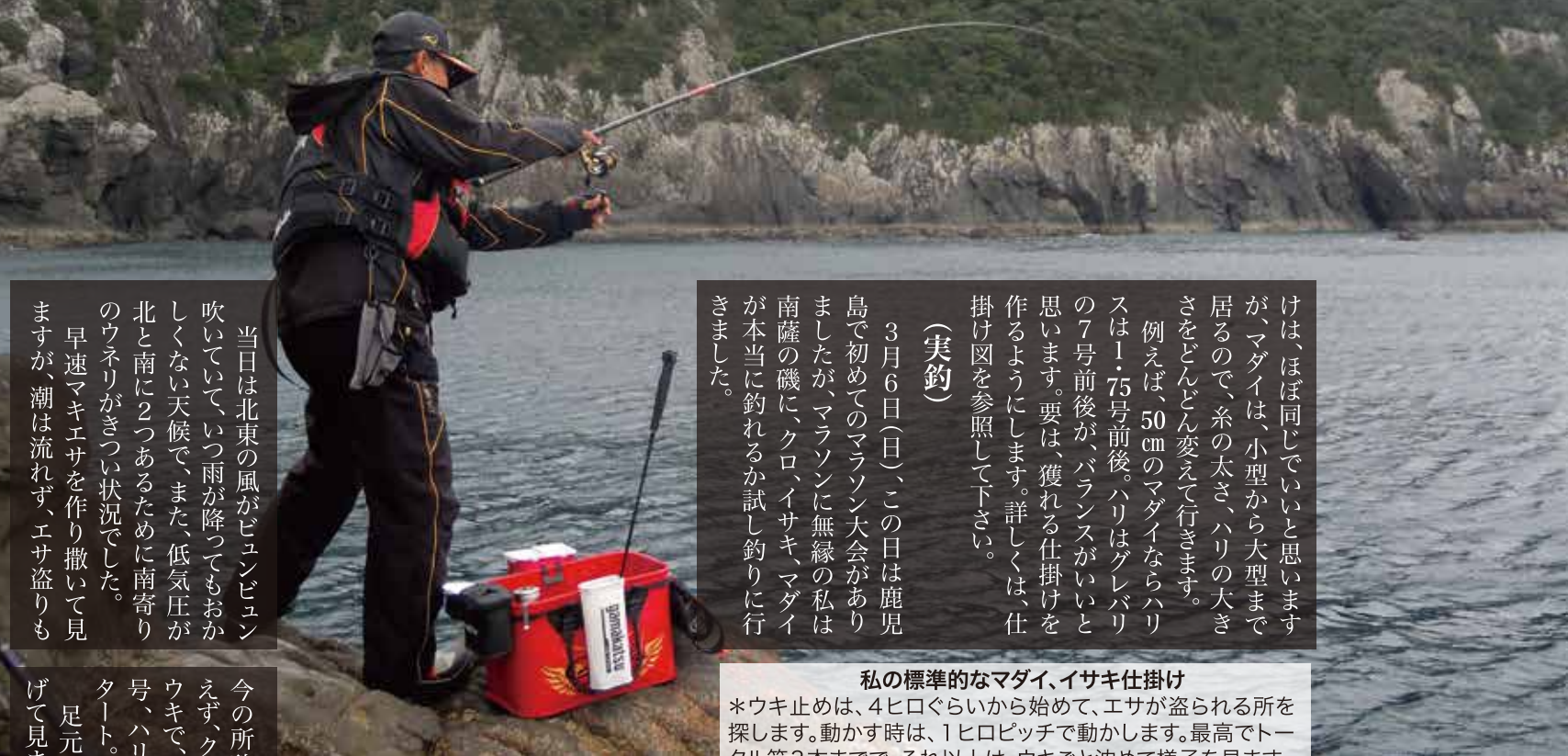


クロ、マダイ、イサキ 春の三種盛いを 釣いに行こう！

南のつりアドバイザー
野間 辰美



当日は北東の風がビュンビュン吹いていて、いつ雨が降ってもおかしくない天候で、また、低気圧が北と南に2つあるために南寄りのウネリがきつい状況でした。早速マキエサを作り撒いて見ますが、潮は流れず、エサ盗りも

今の所確認出来ません。とりあえず、クロ用の仕掛けを作り0αのウキで、道糸、ハリスともに1:75号、ハリスはグレバリの5号でスタート。足元や沖とアッチコッチに投げて見ますが、仕掛けが入って行

ヤッタ!! 良型40up 連チャン!!



▶私をいつも支えてくれる、切っても切れない恋人サンラインブラックストリーム!! どんな魚でも瀬際でも安心してファイトさせてくれる!! 交換頻度が高い競技会などにも便利な、たっぷり70m巻き!!

3月6日(日)、この日は鹿児島で初めてのマラソン大会がありました。南薩の磯に、クロ、イサキ、マダイが本当に釣れるか試し釣りに行きました。

《実釣》

今日は、ほぼ同じでいいと思います。マダイは、小型から大型まで居るので、糸の太さ、ハリの大きさをとどろく変えて行きます。例えば、50cmのマダイならハリスは1:75号前後。ハリスはグレバリの7号前後が、バランスがいいと思います。要は、獲れる仕掛けを作るようにします。詳しくは、仕掛け図を参照して下さい。

私の標準的なマダイ、イサキ仕掛け

*ウキ止めは、4ヒロぐらいから始めて、エサが盗られる所を探します。動かす時は、1ヒロピッチで動かします。最高でトータル竿3本までで、それ以上は、ウキごと沈めて様子を見ます



釣研のウキは私にいつも釣果のヒントを与えてくれる素晴らしい相棒だ!!

すが...
今まで寒グロ一辺倒だったのを、少し頭を切り替えて、三魚種狙ってみませんか。私の持論は、「魚釣りは、釣ってよし、食べてよし」が本来だと思つてますので、旬のマダイやイサキを狙わない手はないでしょう。そこで今回は、クロを狙いつつ、マダイやイサキも狙つてみようと思います。

春は、一年でもっとも水温が下がる時期です。南九州エリアで、13度台から15度ぐらいでしょう。そんな時、クロは産卵真っ只中。でなかなか口を使ってくれなくなります。逆に、マダイ、イサキは、産卵前で荒喰いをして、栄養をたくわえる時期です。クロも産卵中とは言え、全く釣れないことは無いです。全てのクロが、いつせいに産卵するとは考えられないので、まだ産卵前のクロが必ず居ます。数は少なくなるとは思いま

《釣り場選び》
クロは、産卵を意識して浅瀬に入つて来ますが、マダイ、イサキは、そんなに浅瀬を意識しません。また、クロは奥まった所を好み、マダイ、イサキはやはり潮通しの良い釣り場。例えば、岬の鼻だつたり、ワンドの出口、逆にワンドの奥等も案外潮が通ります。忘れてならないのが、本流場。ここは、高い確率で釣れると思ひます。また、水深もそこそこは欲しいです。やはり10m以上は、あつた方が良いでしょう。近くに深場があつたり、駆け上がりになつてゐる地形が、エサを求めて深場から上がつて来やすいと思ひます。

また、予備の配合エサとして、グレパンと活性起爆剤は、常に持つて行くようにしています。グレパンは増量と拡散に優れているので、何かと重宝します。先の3種のエサで足りない時、すぐ付け足します。活性起爆剤は、名前の通りクロの喰い気を高めるのと、ツケエサにパラパラ振りかけるだけで、マキエサの中のオキアミをアピール・演出してくれ、喰いが悪い時に効果的です。

《仕掛け》
クロ、イサキ、マダイを狙うときに、どの魚に合せて仕掛けを作るか、悩み所ではありますが、まずは、クロ狙いの仕掛けで様子を

みては、どうでしょうか。それも、0号のウキではなく、Bとか2B浮力のウキで、きつちりウキ止めも付けて探ると、タナが把握しやすくと考えます。どうしても0号とか、0αとか00を使いたい方は、目印代りにウキ止めを竿2本ぐらいに付けておいて探つて行くと、ある程度どのくらいでエサが盗られるか、分かりやすいと思ひます。

クロとイサキに関しては、仕掛



実釣でのマキエサは、オキアミ生3kgを2角、シャシボアミ1角。配合エサに、マルキユーのV9、アミパワージェル、遠投ふかせTR、グレパン、活性起爆剤を各1袋ずつ。これを2回に分けて作った。